小田小だより

平成２５年１２月号

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西１丁目６９番１号　TEL 045(775)3011
http://www-local.edu.city.yokohama.jp/sch/es/koda/　　横浜市立小田小学校

絵本『わたしのいもうと』のお話

～小田小学校人権週間に思いを寄せて～

学校長　　木村　昭雄

その絵本との出会いは、２５年近くも前になります。私が中学校３年生の担任をしていた時のことでした。クラスの女子の間に仲間はずれが横行し、いくら指導を繰り返しても一向に収まる様子を見せず、どうしたらいいか分からず途方に暮れていた時に、新聞に紹介されていたのがこの絵本でした。さっそく本屋に行き、その絵本を立ち読みしました。読み終え、目頭を熱くしながらレジの店員にその絵本を差し出したのを今でも覚えています。

> わたしは、小学校４年生の妹と一緒にこの町に引っ越してきました。妹は転校した学校で、いろいろな理由をつけて笑われ、ののしられ、いじめられるのです。妹はとうとう学校に行けなくなり、心を閉ざして、振り向いてもくれなくなってしまいました。
> いじめた子どもは、中学生、高校生になりますが、いじめられた妹は、ただ部屋に閉じこもって折り鶴を折るだけです。そしてとうとう死んでしまいます。花と一緒に、妹が折った折り鶴がおかんの中に入れられました。

そのような内容の絵本です。絵本の最後のページには、こんな言葉が書かれています。
「わたしをいじめたひとたちは　もうわたしをわすれてしまったでしょうね　あそびたかったのに　べんきょうしたかったのに」
作者の松谷みよ子さんは、この絵本のあとがきにこんなことを書いています。
「自分より弱いものをいじめる、自分と同じでないものを許さない。そうした差別こそが戦争につながるのではないでしょうか・・・。おそろしいのは、おおかたの人が自分でも知らないうちに、加害者になっている、またはなり得ることではないでしょうか・・・」
次の日、私はホームルームで、その絵本を読んで聞かせました。読み終えたその絵本を、教卓にずっと置きっぱなしにしていました。いつしかその絵本は生徒たちの手あかで汚れ、切れた表紙がセロハンテープで補修されはじめた頃、不思議に仲間はずれがなくなり、学級としてのまとまりも出てくるようになりました。
卒業式の日、担任した生徒諸君に私が伝えたこと。

> 人間は、大昔から仲良くすることによって進化してきた生き物です。人間より力が強い動物はたくさんいます。人間より速い動物だっています。しかし、社会的な知性は人間が一番です。人間は目に見えない相手の心を読み取る能力に優れ、仲良くすることによって社会を作ってきたのだということを実感することができた一年でした。

私は、この絵本を来週の朝会で朗読するつもりです。絵本『わたしのいもうと』には、誰でもそれぞれのよさをたくさんもっているはず、そのよさを互いに認め合って、いじめのない、楽しい学校生活を送ってほしいという願いが込められています。人間も他の生き物も、それぞれに違いがあるからこそ意味がある。その違いを生かして助け合うことが尊い。この思いは、小田小学校の学校教育目標「育てたい小田小の子どもの姿　～元気　友達　笑顔　いっぱいかがやく小田小学校～」にも込められています。
１２月４日～１０日は小田小学校人権週間です。『ちがいのちがい』というワークシートを活用しながら、人権について話し合いをし理解を深めていきます。絵本『わたしのいもうと』は、家庭科室横の廊下のテーブルに立て掛けてあります。手にしていただければ幸いです。